



3月号 (第388号)

武庫川女子大学 附属中学校・高等学校 広報課



邁進

中学3年主任 廣瀬 仁美

76回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の中学校生活を経て、皆さんが立派に「武庫川の中学生」として成長してくれたことを本当にうれしく思っています。学年目標を1年次「磨く」→2年次「輝く」→3年次「極み」と掲げ、それを意識した学校生活を一緒に過ごしてきました。大きな行事も大切な思い出ですが、毎日の何気ない時間もあなた方にとってはかけがえない思い出の宝庫です。特に今年度(2020年度)は、コロナ禍の影響を受けて二度にわたる緊急事態宣言が発令され、当たり前前に思っていた日常生活が一変しました。そういう中で、友人と過ごした時間は、改めて感謝の気持ちを持つことが出来たのではないのでしょうか。中学3年生の最大の目標であった研修旅行においては、皆さん一人ひとりの思いが集結し、一致団結して全行程を無事に終えることが出来ました。素晴らしい思い出だと思います。人生を山登りに例えた話をしたことがあると思います。山に登り、頂上に近づくと壮大な景色を眺めることができます。「あそこには大きな川が流れているから注意して渡らなければならぬ」とか、「目的地への安全な行き方はどれかな」といったように、あらゆることを総合的にみて判断できます。人生も同じように、年を重ねていくことで視野が広がり、いろいろなことに注意を払うようになります。高い山まで登るためには、いくつもの努力や失敗を繰り返すものですが、その経験があるからこそ得られる達成感というものはあるのです。まだ中学校生活を終えたばかりのあなた方にはありますが、3年前の自分とは大きく違う自分があることに気づいていると思います。あなた方の前にはまだまだたくさんの険しい道が続いていきますが、頂上へ向かって前進していきってください。一步一步、歩むにつれて、今まで見えなかったことや、気づかなかった事柄に気づき、考えて行動出来るようになるでしょう。人は、いろいろなことに感動して成長していきます。素晴らしい景色を眺められたら、大きな感動があるはずですが、中学校生活という一つの山を乗り越えたら、次はもっと大きな高校生活という山が待っています。その先もさらに高い山に登り、周りの様子や状況により正しく判断出来る女性になっていってください。思い通りに進まないことや、理不尽なことがあっても、そこで嘆いたりあきらめたりせずに、その時々に応じて絵を描いていってください。思いもよらない新しいことに出会うかもしれません。失敗、大いに結構。挫折、それも大切。大事なことは、前へ進むことです。

第73回卒業証書授与式

328名の旅立ち

3月3日(水)武庫川女子大学附属高等学校第73回卒業証書授与式が公江記念講堂で行われました。藤森校長先生は式辞の中で、「まさに皆さんがコロナ世代元年という時代に遭遇し、これまでに経験したことのない社会状況の中で前進してきた皆さんの力を心より褒め称えたいと思います。日々の私たち

の行動は、自分たちの思いだけで行動するのではなく、自分自身と他の人のほどけぬ結びつきを理解しつつ集団としての責任を果たしていかなければならないということです。皆さんなら様々な苦境を乗り越え新たな道を模索して未来を切り開いてくれると信じています」と卒業生にエールを送られました。

在校生代表の桃尾有佳里さん(高2)は送辞の中で「今年度の学校行事は様々な制限がかり、思うように出来ない事がたくさんありました。その中で先輩たちは自分たちが出来ることを全力で望む姿勢を示してくれました。いつも私たちが正しい道に導いてくれ、常に私たちの前を歩き、お手本になってくださった先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです」と感謝の気持ちを伝えました。

卒業生総代の澤まりさん(高3)は答辞で、「コロナ禍の様々な困難の中でも、生徒たちのアイデアで研修旅行や武庫川フェスティバル、体育大会を無事成功に導く事が出来ました。多くの人が関わり協力しあい、精一杯努力をしてその力が合わさった時に素晴らしいものが出来るのだと行事を通して学ぶことが出来ました。先生方は、私たちが信用して生徒中心に様々な事に挑戦させてくださいました。そのため充実感や達成感を味わうことが出来ました。いろいろな経験をさせてくださったことに感謝します。在校生の皆さんはこれから悩む事もあると思いますが、仲間と協力し合って頑張ってください」と自分に関わった方々への感謝の言葉で答辞を締めくくりました。

卒業生328名は、先生方、保護者の方々に見守られて新しい未来へ踏み出していきました。



巣立ちゆく高校3年生

高校3年生が浜甲子園キャンパスに登校する最後の日、3月1日に、在校生との「別れの式」をAV1から中継で、そして前庭で「記念植樹」を行いました。

別れの式

八尾 鈴葉(高3)

今日は私たち高校3年生が3年間、6年間通ったこの中高に登校する最後の日です。今日まで、最高の仲間、そして、いつも愛情を持って支えてくださった先生方との素敵な出会いに恵まれ充実した日々を送ることができました。

今年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、様々な行事や大会が中止、延期になりました。やりきれない思いをすることが多くありました。そのような中でも高校3年として「できることを一杯やりきりたい」という一心で短縮した形ではありましたが、わたしたちらしい武庫川フェスティバルや

体育大会を開催することができました。これはもちろん、後輩の皆さんや私たちのためにと、必死に動いてくださった先生方の協力があったからこそ実現できたことです。在校生の皆さん、来年度もまた、様々な困難が訪れ、思い通りにいかないことがあるかもしれませんが、それでも、前を向くことを忘れず、一人一人が自分らしい一年を過ごせるよう、頑張ってください。最後になりましたが、今まで私たちに支えてくださったすべての方々に感謝の言葉を申し上げ、別れの言葉といたします。

記念植樹

中川 萌恵(高3)

私たち73回生の卒業記念として寄贈いたします樹木は「イロハモミジ」です。モミジには「大切な思い出」や「美しい変化」という花言葉があります。私たちもこの花言葉のように、武庫川で過ごした大切な思い出を忘れることなく、自分自身がこれから美しく変化していけるよう、様々なことに挑戦し、頑張ります。



卒業記念講演

2月26日、「卒業記念講演」を実施しました。

例年は公江記念講堂で実施しますが、今年はコロナの影響で、AV1教室からクラスへの中継で行いました。講師は本校の卒業生で、現在は声優・ナレーターとして活躍されている小泉彩さん。高校時代は放送部に所属し、NHK杯全国大会アナウンス部門で5位、そして夏の甲子園の司会を経験しています。小泉さんは講演後、「生徒の皆さんが真剣に話を聞いてくださりうれしかったです。クラブの後輩のように思いました」と話されました。





国際女性デーMUKOJOFORUM開催

3月6日(土) 武庫川女子大学 公江記念館にて「国際女性デー MUKOJOFORUM」が開催されました。

本大学の西尾亜希子教授の基調講演のあと、「自分の生涯キャリアデザインを考えよう」をテーマに中学・高校部門で本校高校2年の3名がスピーチを行いました。佐藤亜衣さんは「看護師を目指す理由(最優秀賞)」、峰田百花さんは「英語を話せる薬剤師になる(優秀賞)」を、姫田美怜さんは「病院薬剤師になる(優秀賞)」をそれぞれ自分の体験を基に将来の目標をしっかりと語りました。



CG・SE発表会

英語科主任 大目木 俊憲

2月20日、CG・SE発表会を公江記念講堂で開催しました。例年と違い、感染症拡大防止の観点より無観客での開催となりましたが、生徒たちは日頃の学習の成果を一杯披露しました。高校1年生は、各グループが日本の世界遺産をプレゼンテーションしました。映像とナレーションのマッチングがすばらしく、英語の表現力もとても豊かなものでした。高校2年生は、英語ミュージカルを行いました。フェイスクラウドをつけての演技でしたが、各生徒が役どころにあわせて完全に英語のセリフを自分のものに、レベルの高いミュージカルに仕上がっていました。高校3年生は、自主映画製作に近いレベルのムービーと舞台でのパフォーマンスを見事に融合させていました。映像の美しさ、ストーリーのオリジナリティの高さは、さすが最高学年の作品と言えるものでした。とてもすばらしい発表会になったと思います。ぜひ、本校ホームページにてご覧ください。



常任委員会より

宙々見つけよう私の輝き、繋げよう私たちの心々。来年度の武庫川フェスティバルのテーマは「宙々見つけよう私の輝き、繋げよう私たちの心々」です。「宙」をあえて「そら」と読む理由は、その一字で夜空を連想してほしいと考えたからです。暗い夜の中で輝く星々を探るように、暗い状況でも光り輝くものを見つけないと、探したいと私たちは考えています。星々、すなわち各個人の個性の一つひとつは小さな輝きであっても、それを繋げれば一つの星座に、そして大きな銀河になることができます。コロナ禍で暗いニュースが多く、様々なことが制限され、身体的な距離をとらなければなりません。しかし、心一つに繋げることはできます。この武庫川フェスティバルでも、皆さんがその個性を生かして輝き、繋がり合ってください、私たち武庫川の生

徒の手でこの暗い現状を明るくしたい。そんな願いを込めています。令和3年度にしか作れない武庫川フェスティバルを、一緒に作り上げましょう!

被服部が「雛人形」を飾りました

3月3日は雛祭りの日です。応接ホールには被服部の生徒たちによって雛人形が飾られました。学校を訪問された方々を雛人形がお迎えしています。



「富士スカウト章」受章

ボランティア部の元部長、吉川枝里さん(高3)がボーイスカウト日本連盟より最高位の章である「富士スカウト章」を受章。この章はボランティアなどでめざましい活動をした人物に対して贈られる章で、1年で県で4~5人しかいません。「富士スカウト章」の代表は東宮御所及び首相官邸への表敬訪問を行います。



「アジア協会アジア友の会」へ文具を寄贈

2月19日、高3の庶務委員の西宮亜美さん、吉田千夏さんが本校の石垣教諭、そして18年前の平成15年の初めての寄贈から関わっているWedge先生と一緒に「アジア協会アジア友の会」へ文具を寄贈してきました。この「海外の発展途上国で暮らす物資に恵まれない子供たちにプレゼントを送る」という計画は英語科の先生方が中心になり始まりました。生徒たちはプレゼントを通じて広い視野で世界を見つめ、各国での子供たちの生活状況、教育事情などの現実を把握し、更に、文化交流、国際理解に貢献しています。

西宮亜美さんは、「コロナ禍の現状ではどこの国の人でも自分たちの事で精一杯で他国に目を向ける余裕がないと思います。しかしこの文章を読んだ方だけでも自分ができることを探してほしいです。文房具の回収に協力してください。くださった皆さん、本当にありがとうございます。引き続き来年度もご協力頂きますと幸いです。」と話していました。



☆様々な分野での活躍☆

【ハンドボール部】

◇兵庫県高校連ハンドボール部 令和2年度ベストセブン賞 優秀選手賞 田村 弥有(高3) 奥村ちえり(高3)

【柔道部】

◇兵庫県柔道グランプリ2021 (2/14) グリーニアリーナ神戸) ベスト8 山下 葵生(高2) ※この結果、近畿選手権(2/28)長浜ツインアリーナ)に出場が決まりました

【バドミントン部】

◇第17回兵庫県スポーツバトンコンテスト 兼 第74回兵庫県民体育大会 (1/16)宝塚スポーツセンター) 選手権2バトン Jr I 第1位 加藤 遙菜(中1) 選手権3バトン Jr II 第1位 小林 海音(高1) 選手権4バトン Jr II 第2位 坂口 美瑛(高1) 選手権5バトン Jr II 第1位 小林 海音(高1) 選手権6バトン Jr II 第1位 坂口 美瑛(高1) 選手権7バトン Sr I 第1位 山崎 優美香(高3) 選手権8バトン Sr I 第5位 山崎 優美香(高3) 選手権9バトン Sr I 第5位 山崎 優美香(高3)

【特別優秀賞】を受賞しました

◇第46回全日本バドミントン選手権関西大会 (2/27・28) グリーニアリーナ神戸) ソフトボール女子 Jr II 第4位 小林 海音(高1) ソフトストライク Jr II 第6位 小林 海音(高1) トゥーバトン女子 Jr II 第3位 坂口 美瑛(高1) 美珠(高1)

【書道部】

◇第29回国際高校生選抜書道 (2/17・21) 大阪市立美術館) 秀作賞 片岡 想愛(高3) 渡邊 志帆(高3) 竹内 真悠(高1)

【コーラス部】

◇兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト (2/21) 東灘区文化センターうはらホール) 高校1年生「tramsu」 金賞及び兵庫県知事賞(大人も含めた総合1位) 兵庫県教育委員会賞(青少年の部1位) 高校2年生「popomi」 金賞及び芸術文化協会賞(大人も含めた総合3位) 神戸市教育委員会賞(青少年の部2位) 中学2年生「Sunflower」金賞及び審査員賞 中学3年生「chocolate」銀賞 中学1年生「macarons」銀賞

【オーケストラ部】

◇第25回全日本中学生・高校生 管打楽器ソロコンテスト 関西大会 (2/27) 大阪狭山市文化会館 S A Y A K A ホール) 中学校の部 銀賞 太期あおい(A・Sax)(中3) 鶴ヶ崎美涼(伴奏)(中3)

【放送部】

◇第44回全国高等学校総合文化祭こうち総文放送部門 (2020年8月) 文化庁 全国高等学校文化連盟) アナウンス部門 文化連盟賞 金山 未来(高2) 【ボランティア部】 (2/22) ボーイスカウト日本連盟) 富士スカウト章 吉川 枝里(高3)

4月行事予定

Table with 2 columns: Day (日) and Event (行事予定). Rows include school entry, health checkups, academic tests, and school festivals.